



news release

北海道コカ・コーラボトリング株式会社

〒004-8588 札幌市清田区清田一条一丁目2番1号
[URL] <http://www.hokkaido.ccbc.co.jp/>

報道関係各位

2019年9月19日

開墾10周年

“循環型農園”で食物の循環を学ぼう

2019年9月21日(土)

旭山動物園 収穫祭

収穫した野菜を園内の動物たちへ提供

北海道コカ・コーラボトリング株式会社（本社：札幌市清田区 代表取締役社長：佐々木 康行）は、旭山動物園内で 2010 年より取り組んでいる、環境教育プログラム“循環型農園”「つながる輪『いのち』」（以下同プログラム）の本年度の収穫祭を 2019 年 9 月 21 日(土)に行いますので、ご案内申し上げます。

■ 収穫祭概要

日時：2019年9月21日(土) 午前10時から

場所：旭川市 旭山動物園やすらぎの森横 「循環型農園」前(旭川市東旭川町倉沼)

出席者：旭川市 旭山動物園長 坂東 元 様

当社 営業統括本部 エリア営業本部 道北営業部長 黒木 聡

旭川実業高校、旭川農業高校、拓殖大学北海道短期大学ほか

内容：①関係者全員で収穫実施 ②収穫した野菜を園内の動物に提供

この農園は動物の排泄物を利用した堆肥から農作物を作り、その農作物が動物や人間の食料になるという一連の流れを通して食物の循環を学ぶことを目的として旭山動物園と当社を含む協力団体が協働で開墾したものです。

今年は5月に農園開きを行い農作物の作付けを行ったほか、「ホタルが生息できる環境づくり」を目指し、ホタルの幼虫が1000匹放流され、夏には成虫したホタルが茂みで光る様子も見られました。



※5月の農園開きの様子

収穫祭では収穫を行うほか、収穫した野菜を園内の動物に提供し、生態系の循環を体感します。

当社は、「北の大地とともに」をスローガンに、道産子企業として、北海道の魅力をさらに高める活動、地域課題解決への協力、次世代を担う子どもたちに将来の地球の姿を考える場の提供、安全で安心な地域づくりを応援する取り組みなど、事業活動を通して継続的に推進してまいります。

<本件に関するお問い合わせ先>

北海道コカ・コーラボトリング株式会社 広報・CSR推進部

担当：朝日 TEL：011-888-2091

■ ご参考

同プログラムは、2008年に当社と旭川市との間で締結した「魅力的なまちづくりに関する基本協定」に基づき、2010年から旭山動物園内休憩スペース「やすらぎの森」横にて、旭山動物園と当社を含む協力団体が協働して農園を開墾し、地域の高校生をはじめとする市民が中心となって農作物の栽培をはじめたもので、食物の循環を学ぶことを目的としています。この農園は今年で開墾10周年を迎えました。

■ 協力関係者及び協力内容

(敬称略)

協力団体	役割等
旭川実業高校	農園管理、堆肥管理
旭川農業高校	農園管理、堆肥管理
拓殖大学北海道短期大学	農園アドバイザー、作物育成指導
株式会社北海道録画センター	農園づくり支援、活動内容録画
花本建設株式会社	土、有機肥料提供と搬入
龍後設備株式会社	水廻り設備工事等支援
株式会社新見産業	焼丸太提供(柵)
有限会社旭川銘木	畑の囲い木枠用板提供
北海道労働者協同組合	農園管理支援
山田 有弘	ホタル提供
旭川市旭山動物園	トータル管理、農園場所提供、水道光熱費負担
北海道コカ・コーラボトリング(株)	環境プログラム総合調整

■ 「つながる輪『いのち』」寄付自動販売機 設置協力者

(敬称略、順不同)

設置先	設置先の住所
ロッジヴィクトリ	旭川市春光台1条4丁目
木村下宿	旭川市末広4条2丁目
株式会社トラスポジャパン	旭川市末広6条1丁目
東邦電設株式会社	旭川市東光3条2丁目
旭川市旭山動物園内やすらぎの森前	旭川市東旭川町倉沼